

2013.8 vol.8
tag
たぐ

多賀城発で多賀城着。ヒト・コト・モノを届けます

「tag」は多賀城をもっとよいまちにしていきたい、社会や地域のために何か活動したいという方を応援する月刊フリーペーパーです。



～輝く子どもたち～
BRIGHTKIDS

ブライツキッズ

多賀城の子どもたちが集まって結成されたジャズバンド「ブライツ☆キッズ」。はじめは多賀城東小学校吹奏楽部ですが、今は多賀城市内の小学生13名が参加し、自由な音楽性と少人数でも演奏できるジャズバンドとして活動しています。

子どもたちは「コンサートが楽しそう」「演奏する姿がカッコイイ」「やってみたい楽器がある」という想いから参加したそうです。学校の授業では経験できないベース、ドラム、トロンボーン、サクソなどを演奏する姿はとても輝いていました。

演奏を通して「できないことができるようになっていく喜び」「もっと上手になりたいという気持ち」が自然に生まれてくるようです。

『多賀城市民音楽祭』や多賀城市文化センターの『ロビーコンサート』といった市内での活動が中心ですが、『定禅寺ストリートジャズフェスティバル』等の市外のイベントでも活躍しています。昨年は東京の六本木ヒルズでも演奏したそうです。また、今年は『多賀城あやめ祭り』にて、世界的ジャズピアニストの小曾根真さんと共演しました。

多賀城市内の小学2～6年生なら誰でも参加できます。毎週日曜日、多賀城小学校で練習しています。他の学校のヒトとも仲良くなれるチャンスです！



イベントの出演依頼も受け付けています。

見学などの
詳しい問合せは
ブライツ☆キッズ
保護者代表
花屋ひろ子さん
090-3123-0266



ヒント from “たがさぼ Press”

たがさぼのブログから地域づくりに役立つ記事をご紹介します

詳しくはブログへ <http://blog.canpan.info/tagasapo/>

● **お祭り・イベントグルメの新しい楽しみ方!?** 2013年7月27日(土) 掲載
イベントの楽しみの一つである屋台。でも紙コップやお皿などゴミも出てしまいます。そこでマイ食器・マイボトルを使っちゃおう！

● **テレビや新聞だけがメディアじゃない** 2013年7月20日(土) 掲載
今や情報を発信するのはマスコミだけではありません。「ユーストリーム」という動画配信で誰もが情報発信できる事例を大公開。

● **日程調整の苦勞にさようなら** 2013年7月11日(木) 掲載
会議やイベントを行う時、参加者の日程調整に手間がかかります。そんな悩みを解決するインターネットの便利サービスをご紹介します。

“たがさぼ Press”とは？

たがさぼスタッフによるブログ。興味が湧いたらたがさぼ Press へ！ *ケータイ、スマホからもご覧いただけます。



たがさぼからのお知らせ

たがさぼが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します



誰でも かんたん かわいい 自分だけのタンブラーづくり

台紙に絵を描いたり、折り紙を切り貼りしてオリジナルタンブラーをつくりませんか？お茶をしながら、ちょっとお得なエコの話も聞けちゃいます。親子での参加も大歓迎です。

日にち	2013年8月31日(土)
時間	午前10時～午前12時
会場	多賀城市市民活動サポートセンター 大会議室
費用	500円(タンブラー代・お茶代など)
定員	20名(先着順/要事前申込)
申込	多賀城市市民活動サポートセンター窓口または電話にて
問合せ	022-368-7745

※保護者・付添いの方も1名として料金をいただきます。



活動を地域へバトンタッチ!

震災後、東京から来た山下剛史さんが避難所で始めた工作教室は、現在では地元の人たちも加わり、「やましたさんとみんなの工作教室」として月1回、2ヶ所の仮設住宅で活動しています。これまでのこと、これからのこと、山下さんにお話を伺いました。

T 多賀城で工作教室を始めたきっかけは何ですか？

多賀城に友人が住んでいて、震災後に連絡を取り合う中で自分も何かできないかと考えました。当時、放課後子ども教室の運営を担当しており、その経験を生かして避難所に子どもたちの遊び場を作ることにしました。

★ これまでどのように活動してきましたか？

月1回、午前午後2時間ずつ活動していました。避難所が閉じた後は、子どもの多くいる仮設住宅を巡回していましたが、現在は2ヶ所の仮設住宅で活動しています。手軽に手に入る材料で簡単な工作をしながら、子どもたちと色々な話をしてきました。

✂ 活動を行っていて、子どもたちの様子はどうでしたか？

子どもたちはただ遊ぶだけなのに、あまり大きな声や物音を出せない等、気を遣っているように感じました。工作教室の時だけでも思う存分遊べるように、できるだけ子どもの希望に応えました。工作はせずに、雪遊びをしたこともあります。工作教室を続けることで、私たちが来るのを楽しみにしている子どもも出てきています。

🔧 これまで活動を続けてきて、工夫したことや難しかったことは何ですか？

活動を続けるためには、地域をよく知る人の力が必要と考えていたので、地元の方に参加してもらいながらノウハウを伝えていきました。また、イベントにも参加して、工作教室の活動や仮設住宅での子どもの現状についてお知らせしたり、活動資金を募る機会を設けてきました。難しい点としては、見学者や手伝ってくれる人が出てきても、次回まで間が空くため、なかなか継続して参加してもらうことができませんでした。

⚙ 今後の活動について教えてください。

今後も子どもたちに寄り添い続けていきたいですが、私自身が東京在住で、月に1回の多賀城での活動ではどうしても行き届かないこともありました。そのため、地元の方々に活動により多く関わってもらい、だんだんと活動を引き継いでいくことで、地域全体で普段から子どもたちを見守り、育てるような形にできればと考えています。工作教室としては、子どもだけでなく大人でも楽しめるような内容も考えていますので、お時間のある方はぜひ一度顔を出してみてください。

大人向けに工作教室体験・報告会を開催し、活動をPRしました。



✉ sikultra@i.softbank.jp

山下剛史さん



イベントに行ってみよう

多賀城や周辺地域のイベントをご紹介します

多賀城月の市 にぎわい祭り

恒例の多賀城月の市。今回の会場は東北学院大学工学部です。タガレンジャーとのゲーム、豪華賞品の当たる宝探し、昨年好評だった「ねぶた」の展示を行います。ぜひ、家族でご参加ください。

日にち	2013年8月24日(土)・25日(日)
時間	正午～午後8時
会場	東北学院大学工学部(多賀城キャンパス)
問合せ	022-368-1141(市商工観光課)
主催	多賀城月の市実行委員会



NPO復興お役立ち情報

NPOによるサービス、相談窓口などを紹介

【チャイルドライン】NPO法人チャイルドライン支援センター
学校のこと、家族のこと、いじめのこと等悩みや不安を抱える子どもの相談窓口です。どんな話でも安心してお話しください。

電話	0120-99-7777(通話料無料)
時間	午後4時～午後9時(月～土曜)
URL	http://www.childline.or.jp/supporter/

【ママババライン仙台】NPO法人せんだい杜の子ども劇場

子育ての悩みや不安に関する相談電話です。専門の研修を受けたボランティアスタッフが、あなたのお話を受け止め、やさしくお聴きします。

電話	022-773-9140
時間	午前10時～午後4時(金曜)
URL	http://www.ab.auone-net.jp/~senmori8/



「tag」には、多賀城(tagajo)の頭3文字、みんながタグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ(価値)をつける、という意味が込められています。



「たがさぽ」ではツイッターもやります。フォローお願いします!
@tagasapo



「たがさぽ」ホームページはこちら
<http://www.tagasapo.org/>